

【会務報告】

全国高等学校国語教育研究連合会 事務局局長

神能 精一

東京都立板橋有徳高等学校

本年度の大会は、十一月二十日・二十一日の両日東京で行われました。前回の東京での開催は三年前でしたが、諸事情により急遽繰り上げ開催をお願いし、東京都高等学校国語教育研究会の皆様の大変なご努力により実現にこぎつけることができました。実行委員会をはじめとした各方面の方々に深く感謝を申し上げます。短い準備期間にもかかわらず、ジャンル別専門研究者講演会、キャンパスツアー、国立国語研究所見学など東京ならではの企画もあり、大変素晴らしい大会になったと思います。

* * *

第四十二回研究大会東京大会

期日 平成二十年十一月二十日 木・二十一日 金
テーマ 大を育み、文化を創る国語教育―

第一日 杉並公会堂

第二日 都立竹早高校・都立晴海総合高校・都立鷺宮高校・都立石神井高校・都立北多摩高校・二松学舎高校・和洋九段高校

* * *

さて、全国連事務局では「二人の成果を全ての教師のもの」としてをスローガンに、二十九名のスタッフがこれまでの五部二委員会一グループ体制を、今年度より三部一委員会プロジェクトチームに再編して活動を行っております。以下、主な活動について報告いたします。

総務部 各研究団体・文部科学省 協賛団体との連絡調整

高文連・讀賣新聞社主催 全国高校生文芸コンクール
の審査。

全国研究大会の支援。

中国研修旅行の企画運営 本年度は中止

研究部 研究授業・研究発表「一覧」の編集発行。

本年度は過去十八年分の合冊本としての発刊となりました。全国大会での配布、及び全国の高校へ発送しました。

広報部 全国連会報の編集・発行。

入試問題検討委員会・センター試験の検討と評価・提言。

国語実践の会 年間授業計画の研究と授業実践。

これまでの成果について、「国語総合」の指導と評価の工夫―第2集―を発刊し、全国大会での配布、及び各県への発送を予定しております。

その他 全国代表者会議の実施。協賛団体との関係の緊密化。

* * *

今回の大会では、第一日目、総会に続き、高等学校教育が目指すもの―各教科等における言語活動の充実という視点から―というテーマで文部科学省の西辻正副氏による講話がありました。午後から行われた記念講演では黒井千次氏が「生活・体験・表現・創作」という演題で熱弁をふるわれ、その後今回はじめての試みとしてジャンル別専門研究者による四分科会の講演会がもたれました。参加者から感想を伺ったところ大変好評でした。二日目の公開授業、研究発表も、七分科会ともそれぞれ熱がこもったものでありました。また、午後からのキャンパスツアー、国立国語研究所施設見学も好評のうち終了したとの報告を受けました。

また、大会の配布資料の中に「高等学校国語教育研究発表 公開」授業「一覧 合冊本」が入っております。平成三年より発刊してきた十八年間の集成了です。

この事業は、平成二年第二十三回北海道大会で、当時の堀江事務局長が全国の国語教師の研究・授業実践の成果を広く全国の先生方に紹介したいと総会の席上で発表し、事務局研究部・開発部を中心にして、各県紀要や全国大会での発表・研究授業を中心に編集し、第二十四回岐阜大会か

ら配布してきたものです。

これまで、全国より多くの資料の提供を受けておりますことを改めて感謝申し上げますとともに、今後とも貴重な資料の提供をお願いいたします。

さて、大会ごとに配布される「一覧」が年ごとの成果を全国に広げる「横軸」だとすれば、この十八年間分の合冊本は成果の深化をはかる「縦軸」をなすものになると考えます。この合冊本は二月に全国の各高校へ発送しました。諸先輩方の大量退職を迎え、世代交代が急速に進む中、国語教育の「継承」をはかるものとして、また、研究・授業実践のデータベースとなり国語教育研究の基礎資料として活用してほしいと思います。

* * *

平成二十二年度の全国連第四十二回大会は十一月五・六の両日、神奈川県で行われます。主会場は神奈川県民ホールです。また、大会テーマは「育きてはたらくことばの力」に定まりました。本年にもまして盛況な大会となりますよう、あらためてご支援を賜りたくお願い申し上げます。

* * *

十年の長きにわたり事務局運営に当たられた現参与の吉川前事務局長に替わりまして、今年度より事務局運営をさせていただきます。不慣れなことが多く、ご迷惑をおかけしておりますが、よろしくお願いいたします。

全国連事務局

事務局本部事務所

〒一三三〇〇三四 文京区湯島 一四一―二五
湯島聖堂 斯文会館内

電話・FAX 〇五〇―一三六四九―一八七二
紀要等の郵送物等は、この本部事務所のほうへお願い
します。

事務局長

神能 精一 ぞんのう せいいち
東京都立板橋有徳高校 〇三―三九三七―六九一―〇、